

認知症ガイドブックについて

(1) ガイドブックの改訂理由

- ①軽度認知障害（MCI）の段階で気づき、対応することで、認知症の進行予防になることを伝えるため。
- ②認知症のある方の思いを尊重した支援を行うことの大切さを伝えるため。
- ③認知症の症状の状況に合った支援体制を、本人やその家族が理解しやすいようにするため。

(2) ガイドブックの主な変更箇所

- ①軽度認知障害（MCI）と認知症の違いの具体化。
- ②予防についての記載の明確化。
- ③早期受診のメリットを追加。
- ④家族の気持ちの追加。
- ⑤認知症のある方の意志決定支援について追加。
- ⑦認知症の進行と支援体制（認知症ケアパス）の項目の表現の仕方と内容を変更。

※主な変更箇所の具体的な説明については、会議の中でさせていただきます。



【確認していただきたいポイント】

- ・主な変更箇所を踏まえ、ガイドブックの改訂理由に沿った内容になっているか？
- ・ガイドブックのもくじの順序は妥当か？
- ・認知症の進行と支援体制（認知症ケアパス）の表現の仕方や内容は、現行のケアパスと比べて活用しやすいものになっているか？
- ・その他、追加が必要な項目等はないか？

※今回の認知症ガイドブック（案）は、現行のガイドブックと比較しやすいように作成したものです。今後、委員の方にいただいた意見を参考に加筆・修正していきます。